

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者を地域の一員として積極的に関わりがもてるよう支援に努めています。	近隣の小学校の運動会・学習発表会等への参加・交流を行なっています。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実施に向けてまず職員間で働きやすい雰囲気的重要性の理解、ストレスが溜まらないよう報告、連絡、相談を徹底し、入居者が安心した生活を送れるよう努めています。	理念を職員全体で話し合い決めています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホーム内に理念を提示し、入居者、家族等に説明しています。	ホーム内に理念を提示し、入居者、家族等に説明しています。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	推進介護を開催した際、情報交換、気軽に立ち寄っていただけるよう、声掛けしています。事業所と同地区の入居者が3名いることもあり、お友達が遊びにいらしています。近隣の方より、認知症のことや、施設入所の相談あり、他施設を紹介する等行っています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全体で評価を活かして改善に向けて話し合っています。	自己評価及び外部評価を全職員で取り組むことでホームの質の向上・入居者に対するケアの振り返りを行なっています。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、サービスの向上に向け職員間で話し合っています。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催しています。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	外部評価の結果を提出しています。推進会議の際、事業報告を行い、相談、アドバイスを受けています。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度についての勉強会を行なっています。	権利擁護や成年後見人制度についての勉強会を行なっています。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての勉強会を行なっています。	高齢者虐待についての勉強会を行なっています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者や家族等の疑問、不安等十分な話し合いを行なっています。また、退居先で安心した生活を送れるよう、情報提供を行なっています。	入居者・家族等へ不安・疑問等に関する説明・話し合いを行なっています。
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常時気軽に相談できるよう声掛けをしています。又、入居者の言動を職員間で報告しあい安心した生活が出来るよう随時検討しています。意見、苦情等に速やかに対応するための話し合いを行なっています。	今後、運営推進会議の開催にあたって入居者の参加も取組んでいきたいと思えます。
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月はじめの利用料支払い時や、こころ新聞面会時、その他随時報告しています。	月1回のこころ新聞の発行・面会・電話連絡等で報告しています。月初めの利用料金支払いの際主に金銭管理の状況等報告しています。
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や利用料の支払い時に声掛けを行い、気軽に意見、不満等出してもらえるよう働きかけています。又そのことに対し職員全体で検討し質の向上を目指しています。	意見・不満等には職員全体で話し合い対応策を家族へ説明しています。
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム全体の質の向上に向け、随時意見や提案を出しやすい雰囲気作りに努めています。	月1回のこころ会議、その他随時意見や提案を聞く機会を設けています。
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	個々のケアの充実を図るための職員を確保し、ゆったりとした時間の中で支援を行なっています。又、要望等には臨機応変に対応しています。	1ユニット7名の職員を配置し、急な休み等には出勤の交代をしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当職員の交代があっても入居者の影響がないよう、引継ぎや入居者への説明を十分に行い混乱等をしないように努めています。		担当職員の交代は必要最小限とし、引継ぎを行なっています。
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の報告をすることや話し合いの機会を設けています。		研修終了後報告書の提出と勉強会を行なっています。
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修の際、交流の機会を設け情報交換を行なっています。他施設を訪問するなどしています。		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に職員のストレスや悩みを話しやすい雰囲気作りに努め、一緒に解決策を考えていくようにしています。		日常的に悩み・ストレスを受け止め、解消に向け知り組んでいます。又、必要があれば面談等を随時行なっています。
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年1回、健康診断実地、健康管理に努めています。保有資格に配慮、職員配置、向上心を持っていただけるよう考えています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者、家族等の相談、不安等について聞き出せる雰囲気作りに努め、希望に沿った対応が出来るような話合いに努めています。	入居希望者や家族等と直接話を聞く機会を設け、信頼関係を築けるよう対応しています。
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に十分な説明と話し合いを行い本人と家族の希望に沿える様な対応に努めています。	十分な説明と話し合いから希望を明確にしその上で対応について一緒に考えていけるよう話っています。
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	センター方式等を利用し、本人・家族から昔の暮らしぶり等聞き出し、安心して暮らせるよう入居者同士の人間関係等気をつけながら徐々に馴染めるよう努めています。	ホームの見学を入居前に本人・家族等に行なってもらい、本人が安心して生活していけるよう家族等の協力も必要なことを説明しています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人一人得意分野が異なる為、その人にあったものを生活の中で探し、本人の負担にならない程度に手伝ってもらえるよう努めています。	掃除・洗濯物たたみ・シーツの交換等入居者同士の関係・トラブル等注意しながら対応しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしぶりや健康面等随時報告すると共にケアの内容を説明しながら家族の思い・意見を聞き出し、家族の協力も必要な事等伝え共に支え合う関係作りに努めています。		ホームでの生活・入居者の思い等家族へ伝え面会・外泊等協力を得られています。
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会、電話、月始めのこころ新聞等利用し、利用者の様子を伝えています。又、入居者と家族の関係の把握と家族の協力も時には必要なこと等理解して頂けるよう努めています。		入居者の思い・認知症の状態等家族が理解・受け止めていけるよう都度報告・相談を受けています。
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人等の来訪あり、また面会に来て頂けるよう声掛け・雰囲気作りに努めています。		友人等の来訪あり、また面会に来て頂けるよう声掛け・雰囲気作りに努めています。
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	認知症レベルの違いから入居者同士のトラブルがあり、職員間での情報交換を密にトラブル回避と良い関係が保てるよう話し合っています。		入居者同士の関係・トラブル等事前に予測した上で一人ひとりが楽しく生活できるよう対応しています。
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も相談に応じる事を話しています。		相談等は気軽にしてもらえるよう話をしています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の思いや希望等を日常の会話から遠慮なく話して頂けるよう声掛けをし実現に向けて取り組んでいます。又、家族等へ伝え協力を求めています。	本人の希望には出来る限り対応していけるよう職員間で話し合い、家族等へ状況報告し協力を得ています。
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を主に利用し家族、本人などより生活歴等把握に努めています。	センター方式を活用し、家族等より情報収集を行い、半年に一度の見直しをしています。
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	全職員で把握に努め又、情報交換を共有しています。	生活リズム・暮らし方を把握し、変化等については職員間で申し送り観察のポイント等を話しあっています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の生活の中で、困っていることがないかさり気なく聞き出せるよう声掛けしています。職員間で課題に対する目標を明確にし、対応の結果を報告しあっています。	毎日のカルテ記入の時間等に、一人ひとりの課題やケア内容の話し合いや見直しを行なっています。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者、家族等の希望等を聞き出せるよう、言葉がけ・話し合いに努め見直しを行いその時の現状に必要な計画を作成しています。	随時本人の状況の変化等に合わせ、職員の意見を聞き見直しを行なっています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録に日々のケアの実践状況を記録しています。又、記録の内容を全職員が共有し一人一人に必要な対応を職員全体で統一しています。		個別にカルテを作成し介護計画に沿っての記入とその他気づき等の記録を行なっています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望について話し合い納得のいく支援ができるよう努めています。		本人や家族の要望について話し合い納得のいく支援ができるよう努めています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進介護を通して、地域の民生委員、駐在所より参加いただき、事故等の際、協力いただけるようにしています。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて他事業所との連携を図っています。		月1回美容院の来訪があります。
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要があれば連携し支援していきます。		必要があれば連携し支援していきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族等の希望する医療機関に受診しており、結果は都度報告しています。又、体調変化等にも随時対応し家族等への報告と話し合いを行っています。		月1～2回の受診と体調の変化等随時受診しています。その際、本人の希望する病院への受診と家族等への報告をしています。
41 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院への情報提供を行い、臨機応変な対応をしています。		受診の際、日頃の様子等報告し相談にのってもらっています。
42 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員一名配置しています。		看護職員との相談の上、日常の健康管理・受診等の支援を行っています。
43 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者との情報交換や連携を確保しています。		入院中の状況の報告を受け退院後のホームでの支援内容について、家族等と話しあっています。
44 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	随時医療機関へ受診し、今後の対応について家族と話し合いを行っています。		入居者の状態の変化等随時家族へ報告し今後の対応について話しあっています。
45 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	対応していない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	高齢者が別の場所へ移り住む事への不安やその事による変化等、家族へわかりやすく説明し、家族の協力が必要な事を理解して頂けるよう話し合っています。又、移行先への情報提供も行っています。		本人がホームで安心した生活が出来るよう家族等へ面会・外出等の必要性・協力について話しあっています。職員も本人が不安にならないよう声掛けや他入居者との関係に注意しながら支援しています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人一人の性格や特徴等職員間で把握し安心した生活が出来るよう言葉掛けや対応に努めています。利用者の個人情報等についても十分注意し業務を行なっています。		個人情報やステーションに管理し、入居者への声掛け等について常に振り返りながら適切な対応に向けて取り組んでいます。
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の関わりから入居者の希望、関心等引き出せるよう働きかけ、レクリエーション等で主に入居者に選んでもらう場面作りをしています。		日々の生活から遠慮なく、出来るだけ自分で選び決めるよう声掛けしています。
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ対応しています。		入居者のペースを把握し、他入居者とのトラブルがないよう調整し、出来るだけ本人に沿った生活ができるよう対応しています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣服は入居者へ選んで頂き、衣服、整容の乱れにはさり気なく対応しています。又、月に一度美容院の来訪があり、本人・家族の希望にて行なっています。		身だしなみやおしゃれ等には本人の個性を尊重し、後で乱れ等のサポートをおこなっています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立に苦手なものがあれば個別に変更しています。又、出来ることは本人の負担にならない程度に手伝って頂いています。食べこぼし等、本人が気にしないようさり気なく支援しながら食事を楽しめるよう努めています。職員も一緒に食事をとっています。		好き嫌いを把握しています。茶碗拭き、米とぎ等入居者の状況等に合わせ行なっています。毎食職員も一緒に食事を摂っています。食べこぼし等あっても食事を楽しめるよう対応しています。
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙スペースを設けたり随時買い物に出かけています。		喫煙スペースの設置、入居者と一緒に行き買いに出かけたりしています。
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	訴え時や定時誘導で排泄の支援を行なっています。又、本人が失禁等気にし過ぎないようにさり気なく交換したり、プライバシーに配慮しています。		失禁のある入居者に対しては、定時誘導にて状況を記録に残し、事前誘導等対応しています。
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に三回の入浴の他に本人の希望に合わせて対応しています。入浴時の状況の観察と職員間で入浴習慣、好みを把握し入浴を楽しめるよう支援しています。		入浴習慣や好みを把握し、トラブルのないよう順番等に配慮しています。入浴拒否のある方には原因を探り、声がけや入浴時間の変更等対応の工夫をしています。
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中、個々にレクリエーションや食事準備等、活動量を無理のない程度に行い適度な疲労感が持てるよう支援しています。又、眠剤の変更や不眠時の話相手等行なっています。		本人の体調等に合わせ無理のない程度に対応し、生活リズムを整えています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式の活用と、日々の生活を観察し把握に努めています。又、一人一人、得意とすること、楽しみとすること等把握し、充実した生活が出来よう努めています。		日常の生活の中で本人の生活歴や力量を把握し掃除や買い物・裁縫等一人ひとりにあつた役割を支援しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物等の場面で入居者の方に支払いの行為を行なって頂いています。		買物等の場面で入居者の方に支払いの行為を行なって頂いています。
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	随時、入居者の希望にそって外出先を決め対応しています。又、その際、本人が不便さを感じず楽しめるよう対応に気をつけています。		入居者同士の関係や車椅子を使用される方等外出の際考慮しメンバーを決め、天気のよい日等出来るだけ外出する機会を設けています。
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日常の会話から外出場所に希望を聞きだす等行い出かけています。又、自宅に帰りたい等の希望があれば家族と相談して実現できるよう話し合っています。		盆や正月・その他本人の状況を説明し、外出・外泊に関する事を家族等と相談しています。
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望にそって対応しています。		入居者から自宅等へ電話したいとの訴えには都度対応しています。
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間を気にせず家族の都合にあわせいつでも面会に来てもらいたい事を伝えています。又、気軽に訪問できるよう言葉がけ、雰囲気作りに心がけています。		面会時間（8:00～20:00）を決めているが、時間外でも気軽に訪問してもらえるよう対応しています。
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束のないケアを行い又、必要であれば家族に説明・承諾を得ます。		身体拘束に関する勉強会を行なっています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ鍵をしています。又、家族にも了承を得ています。常にホームには職員がいるようお互いに声掛け、入居者の状況を把握しています。		日中ホールに職員が必ず1名以上配置するよう声をかけあって業務についています。
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	カルテ記入は常にホールで行い、ナースコールを活用し、職員は一つの動作にとらわれないよう声を掛け合って全体を把握し、背を向けない事を心がけています。		日中ホールに必ず職員を配置する体制をとり、夜間は二時間ごとの見回りと状況に応じて見回りを強化しています。
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬剤は厳重に保管しています。毎日刃物等のチェックを行い、安全の確保に努めています。又、利用者の状態の変化に合わせ再検討を行なっています。		刃物・はさみ等の確認を毎日行っています。注意の必要な物品・薬剤等の保管場所も入居者の状態に合わせて見直しています。
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット報告書、事故報告書の作成や、日々のケアの中で入居者の状態の変化を観察し未然に防げるよう職員間で報告、話し合っています。		ヒヤリハット・事故報告書の作成を行っています。
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年1回、応急処置、救急救命の研修を受講しています。		
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練では、1回は夜間を想定し、訓練しています。特に両隣に対しては、協力を得られるよう、働きかけています。		災害発生時の食料、飲料水、毛布などの物品を常に用意していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者の状況変化等、家族等へ説明しそれに伴うリスクや対応策について説明しています。		随時家族等へ説明しています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃の個々の状態をよく観察することで体調、歩行、食事量等の変化に早期に発見できるよう努めています。又、職員間で安易に判断せず医療機関への受診も早めに対応しています。		体調の変化等記録に残し全職員に申し送り医療機関に受診・相談をしています。
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み忘れや誤薬等ないように職員間での声掛け、名前の再確認を行なっています。薬の変更時には記録と全職員に伝わるまで申し送りで報告しています。		個別にカルテに薬の内容等保管しています。服薬の変更に関して全職員に申し送りをしています。
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の改善に向けて状況等見直ししています。又、医療機関へ報告し下剤等の調整を行なっています。		便秘の改善に向けて活動量・体操等行っています。飲み物の工夫と摂取量の確保に努めています。又、医療機関との相談の上、下剤の調整をおこなっています。
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、入居者への声掛けや一部介助にて口腔内の清潔保持に努めています。		毎食後の口腔ケアをおこなっています。
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の記録と、一人ひとりの状態・習慣等は把握し、一日に必要な量の確保に努めています。		食事・水分摂取量の記録と、一人ひとりの状態・習慣等は把握し、一日に必要な量の確保に努めています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを作成し予防と早期発見できるよう努め情報を集めたファイルや勉強会を行なっています。		感染症マニュアルを作成し予防と早期発見できるよう努め情報を集めたファイルや勉強会を行なっています。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	コップ等の週に一度のハイター消毒や冷蔵庫のアルコール製剤を使用した衛生管理を行なっています。食材の担当を決め管理しています。		食材の担当を決め管理しています。週末に食器・冷蔵庫の消毒、その他随時衛生管理に努めています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気軽に来訪していただけるよう声掛けや雰囲気作りに努めています。		玄関先に訪問者が見えられた際、すぐ対応できるようホールに必ず職員を配置し笑顔で迎えるよう努めています。
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に音量、明るさ等気につけ対応しています。又、入居者からも気軽に訴えてもらえるよう声掛けしています。季節ごとにホームの飾り付けを、入居者と一緒に創作しています。		入居者の立場に立って不快なものがないか配慮し、入居者へも日々の生活の中でさりげなく聞き出せるよう声掛けをしています。
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者が独りになりたいとき、気のあったもの同士で過ごしたい時等、過ごせる場所があります。又、喫煙場所も確保できています。		入居者自らが選べるように各スペースに椅子を置いています。喫煙場所も設置しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	一人一人に合った居室作にむけ家族の協力等得な がら実行しています。		随時家族等と話し合っています。
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	ホーム内の換気を随時行っており温・湿度計も 設置されています。		温・湿度計を設置しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	手すり等の設置と日々の生活の中で転倒につな がるものがないか観察しています。又、入居者が手 伝ったり、使用しやすいように改善の工夫につい て話し合っています。		廊下・トイレ等に手すりを設置しています。入居 者の歩行状態・行動範囲等観察し、危険物がない か確認しています。車椅子も確保されています。
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	入居者の混乱や行動の失敗の原因を探り自立した 生活を送れるよう話し合っています。又、入居者 の不安・混乱等のない環境作りに努めています。 部屋の目印は一人一人違うものにしてあります。		入居者の行動・発言等職員間で話し合い安心した 生活を送れるよう取り組んでいます。
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	少しの空間だが、花、野菜をうえています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者のほとんどの方が、毎日ホールで朝から晩まで過ごされていることです。たまにはトラブルもあるが、それもまた活気があるのかな？と。この状況を維持できるようにしていきたいと思います。